



最優秀賞
山口藍世さん
(希望の里学園4年生)

この本は、ぼくが1年生の時から、大切に読み続けてきた本です。1年生の時はあまり意味が分からなかったことも、3年生位になると分かるようになってきました。パート2も買ったので、それもいつかしようかいいしたいです。



「ことわざ絵本」五味太郎
岩崎書店



優秀賞
高橋琉悠寿さん
(希望の里学園8年生)

高嶺の花。彼女は、高嶺の花すぎて誰も近づくことができないほど美しい存在だが、彼女は有名男子に恋しており、彼女は有名男子と好きな男の子と話すことができず、高嶺の花とは色々息苦しいのかも知れない。



五分後に恋の結末
「解けない謎と放課後の密談」
橘つばさ・桃山ハル/学研プラス



優秀賞
長正景子さん
(草野)

この話は著者がいない。正しくは、原文を書いた人が分からず、メールが転送されていく中で加筆修正されたものだ。メールを転送した世界中の人口の思いや願い、励ましや祈りがこもっているこの本を良かったら手に取ってほしい。



「世界がもし100人の村だったら」
池田香代子再話/C.ダグラス・ラミス 対話
マガジンハウス

第22回 読書メッセージコンテスト

素敵な本と出会しましょう

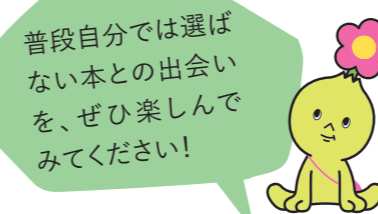
おすすめの本の紹介文を募る「読書メッセージコンテスト」。本との出会いが広がることを願って、村が毎年実施しているコンテストです。今年もJPIC(出版文化産業振興財団)のご協力をいただき実施しました。

第22回「読書メッセージコンテスト」の審査結果を公表します。受賞作は、昨年11月の審査会で入賞作品を決定し、表彰式は、12月下旬に、村役場および「いいたて希望の里学園」で行いました。

素敵なメッセージをご応募いただいた皆様、ありがとうございました。

第22回 読書メッセージコンテスト 審査結果

	氏名	おすすめの本・作者
最優秀賞	山口藍世(いいたて希望の里学園4年生)	「ことわざ絵本」五味太郎
優秀賞	真柴鳳士(いいたて希望の里学園1年生)	「ばけげん町へのおひっこし」たごもりのりこ
	大島輝琉(いいたて希望の里学園6年生)	「命のバトンタッチ」今西乃子
	菅野拓真(いいたて希望の里学園8年生)	「少年の日の思い出」ヘルマン・ヘッセ
	高橋琉悠寿 (いいたて希望の里学園8年生)	五分後に恋の結末「解けない謎と放課後の密談」 橘つばさ・桃山ハル
JPIC賞	長正景子(村民/大久保・外内)	「世界がもし100人の村だったら」 池田香代子 再話/C.ダグラス・ラミス 対話
	菊野八尋(いいたて希望の里学園2年生)	「たすけあいのひみつ」 トミイ大塚/漫画 オフィスhana/構成
	花井咲心(いいたて希望の里学園2年生)	「心ってどこにあるのでしょうか」こんのひとみ
	高橋正人(いいたて希望の里学園9年生)	「5分後に謎解きのラスト」エブリスタ編
	巻野陽菜(いいたて希望の里学園9年生)	「カラス笛を吹いた日」ロイス・ローリー
	原田 朋(村民/深谷)	「『広辞苑』を読む」今野真二



普段自分では選ばない本との出会いを、ぜひ楽しんでみてください!

※受賞者の皆さんがおすすめした本は、交流センター「ふれ愛館」で借りることができます。お気に入りの1冊を見つけてください。